

i002002	〔松峯〕 伝統行事 松峯岳参り	概要 適用
		<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岳参りとは、山の神様を詣でる、島内各集落で行われる山岳信仰行事である。 ・松峯地区はもともと安房集落の分村に当たる。安房の参拝対象は太忠岳・中島（権現）岳・明星岳・モイヨ岳だが、現在は最寄りの明星岳に絞られている。近年は頂上の石碑建屋の整備等（昭和62年に土埋木集材のへりを利用し、藤山氏の私財による）も行ってきた藤山創作氏の指導により行われている。また、一般的に登山道とされる神之川林道よりのルートではなく古い船行方面・林道終点からの登山道を使用する。 <p>令和元年は安房区と合同開催となった。</p>
i002002001 般若心経を唱える藤山氏		」
		
i002002001	i002002002	i002002003
		
i002002004	i002002005	i002002006
<p>【令和元年9月23日 事次第】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝8時生活館前に集合、藤山創作氏は修験装束にほら貝をもって登場、参加者に自己紹介をする。「今日は法名“仁泉”と呼んで欲しい」とのこと。 ・区よりのお菓子の分配を受け、自動車に乗り合わせて船行区との境界付近の林道より入山。荒れた林道を登り登山口へ。一般登山道より歩行距離は短くなる。 ・8時45分頃登山開始。小雨の滴る天気という事もあり相当数の蛭に遭遇・吸血される。 ・9時45分頃 三野岳（船行前岳）との鞍部へと到着。 ・10時50分頃 山頂（地図に標高の記された実際の山頂より150m程南南東地点のポコ）到着 ・藤山創作氏主導で山頂石碑に砂・米・酒（焼酎三岳）・塩を供え、焼香。皆で複数回般若心経を唱える。（般若心経は他の岳参り 		



i002002007



i002002010



i002002008



i002002011



i002002009



i002002012

にはない特色)

・下山後 14時より松峰生活館にて折を用意して直会、解散。

【文献・その他】

屋久町郷土史第三巻P 307 {安房の岳参り} だが古い風習は現在特に引き継がれてはいない。

【写真】

i002002001 般若心経を唱える藤山氏

1)i002002002 松峯生活館に集合

2)i002002003 区よりお菓子を頂く

3)i002002004 登山口風景

4)i002002005 登山道風景

5)i002002006 ヒルが多い

6)i002002007 立ち止まるたびにヒルの除去

7)i002002008 船行前岳とのコル

8)i002002009 塩等を供える。

9)i002002010 山頂石碑。建屋は新しいが石碑は古い。

10)i002002011 下山。ヒルにウンザリ。

11)i002002012 大人たちは直会。